

府中市立小・中学校が目指す

デジタルを活用した 子供たちの学び

学習内容や目的を踏まえて

「デジタルの教材」と「紙の教材」を適切に組み合わせ、
子供たちの資質・能力の向上を目指します！

府中市立小・中学校では、「子供たち一人ひとりに合った学び」と「他者との学び合い」を通して、子供たちの力をさらに伸ばしていくことを目指し、これまでの紙の教材等による学びに加え、デジタルのよさを生かした学習を進めています。どちらか一方に偏ることではなく、学習内容や目的に応じて、それぞれの特長を効果的に組み合わせることを大切にしています。

1 デジタルを活用した学び

タブレット端末の活用

●タッチペンの活用

計算過程のメモや図やイラスト等、子供たちはタッチペンを使って、書き込んでいます。

キーボードやタッチペン、音声入力等の様々な方法で、子供たちは文字等を入力することができます。



●キーボードを取り外して、パシャッ！

キーボードを取り外し、野外観察等で、校庭の植物の写真等を撮ることができます。

キーボードを外しているときには、タッチペンでメモを書くなど、学習スタイルに合わせて柔軟に活用しています。



●自分にあった学び方を選ぶ

「書き直しが簡単にできるデジタルで下書きをしよう」「細かな配置や色合いを工夫してポスターを作成したいから、紙に描こう」など、自分に合った学び方子供たちは選んでいます。



デジタル教材の活用

●デジタルドリルで基礎・基本の定着

デジタルドリルでは、一斉に同じ問題に取り組んだり、一人ひとりに合わせた問題に取り組んだりすることができます。

教員は、学習の目的や子供たち一人ひとりの理解の状況に応じて、出題しています。



●デジタルテストでつまずき解消！

デジタルテストでは、選択式、記述式の問題が様々な出題されます。テスト後、すぐに間違えたところを確認したり、これまでの学習の記録を「カルテ」アプリで確認することができるため、苦手の克服につながります。

●協働学習アプリによる意見交流

アプリを活用することで、互いの考えを簡単にクラス全体で共有し、話し合いに活用することができます。考えの違いや自分にはなかった新たな発見により、学びを深めています。

2 デジタルを活用するとどんな効果があるの？



先生がしっかりサポート

教員がリアルタイムで学習状況を把握し、一人ひとりへのきめ細やかな指導が可能になります。また、効率的に学習を進めることができ、子供たちの苦手を克服できるような指導につなげています。



電子図書館も

活用できます！

「ふちゅう電子図書館」でタブレットから電子書籍を読むことができます。物語・絵本・図鑑・歴史まんがなど豊富なコンテンツが学校・自宅ですべて利用できます。

一人ひとりに合った学び

学習の履歴をもとに、習熟度に応じた問題が出題されます。得意分野を伸ばし、苦手分野を克服できるよう、子供それぞれのペースで学習を進めることができます。



3 紙とデジタル、それぞれに「よさ」がある。

紙の教材のよさ

鉛筆で書きながら考えを整理したり、自由自在に図や式を自分の手で書き込めます。紙面全体を一度に見渡すことができ、全体像を把握しやすいよさもあります。



デジタル教材のよさ

考えをすぐに共有したり、一人一人に合わせた学習に取り組んだりできます。書き直しや修正がしやすく、試行錯誤しながら学びを深められるよさがあります。

～子供たちの学びの充実を目指して～

大切にしていることは、『紙』と『デジタル』のどちらがよいかわけず、学習内容や目的に応じて、紙とデジタルのよさを生かすことです。府中市立小・中学校では、デジタル教材と紙の教材等のそれぞれの長を組み合わせ、「子供たち一人ひとりに合った学び」と「他者との学び合い」を充実させることで、子供たちの力を伸ばしていきます。

夏休みの家庭学習 デジタル活用のヒント集

～自由研究・自主学習に役立つ 3つのアプリ活用法～

夏休みの自由研究や自主学習にも役立つアプリがたくさんあります。夏休みにチャレンジしてみてください。

1 Google アプリを活用した自由研究レポート

Google

スライド
スプレッドシート

「植物の観察記録をデジタルレポートにまとめよう」

- ▶ Google スライドで「観察日記」を作成し、毎日の写真をタブレットで撮影してはりつける。
- ▶ Google スプレッドシートで草丈や葉の数を記録し、成長の変化を表やグラフにまとめる。

保護者の方へ：写真撮影や記録のタイミングを一緒に決めてあげると、充実した観察記録となります。



2 Canva を活用した自由研究ポスター制作

Canva

デザインツール

「調べた『日本の伝統文化』をポスターにまとめよう」

- ▶ Canva の「ポスター」テンプレートを選び、テーマに合ったデザインを編集する。
- ▶ 図書館や電子図書館で調べた内容(写真・文章)を自分の言葉で、ポスターにまとめる。

保護者の方へ：Canva は直感的に使えるデザインツールです。「どの色を使う？」等、一緒に考えるのも楽しい時間になります。



3 ドリルパークを活用した苦手克服・自主学習

ドリルパーク

デジタル学習ドリル

「夏休みの間に算数の苦手単元を集中攻略しよう」

- ▶ ドリルパークにログインし、「苦手な単元」や「前の学年の復習」を自分で選んで問題に取り組む。
- ▶ 間違えた問題をその場で確認し、解き直す。

保護者の方へ：短時間の取り組みでも、続けることで力になります。取組結果を一緒に見ながら「ここが得意になったね」と声をかけてあげると、子供たちの意欲がより高まります。



◎家庭学習のポイント ～子供たちが自ら学びを進めるために～

参考資料：『家庭での学習について～保護者のお悩み Q&A～』府中市教育委員会 令和4年11月発行

面倒くさがって、なかなか取り掛からない。「後でやる」といって後回しにしようとする。

子供たちが家庭学習に対して、自分で考え、学びを進められるよう促すためには、学校での学びと家庭での学びをつなぐことが大切です。

こちらに紹介する家庭学習のポイントを確認しながらぜひこの機会に、家庭学習について話し合ってみてはいかがでしょうか。

① 家で勉強をしなくて困っています…

➡まずは、興味があること、取り組みやすいことから始めてみましょう。

「今日は何に取り組む？」 「どのくらいの時間でやってみる？」といった声をかけることから始めてみるのもいいかもしれません。

② 他のことをしていて、なかなか学習に取り組み始めない…

➡ゲームをする時間やインターネットをする時間について、家庭でのルールを決めましょう。ルールは子供と相談しながら決めたほうが、子供の「ルールを守る」という意識が高まります。

③ 家庭学習を進めるポイントは？

➡子供たちが今日取り組んだ家庭学習について会話しながら、その取組の結果や姿勢を認めてあげてください。「今日はどんなことが分かった？」や「自分で考えて進められているね。」といった言葉をかけると、効果的です。

④ 保護者として、どの程度関わればいいのか？

➡子供たちとともに、目標を決め、計画を立てて家庭学習に取り組むことで主体的に取り組む姿勢が身につけていきます。成長に応じて、少しずつ本人に任せていけるといいですね。

デジタルの活用について、お答えします。

Q デジタルばかりになって、鉛筆で字を書く機会が減るのでは？

A 紙の教材を使った学びも大切にしています。

鉛筆で字を書くことや、本物をじっくり見たり触ったりして観察する学びは、これからも大切です。デジタルは紙の教材等に置き換わるものではなく、あくまで学習を豊かにするための1つの選択肢です。学習内容や目的に応じて、紙とデジタルを適切に活用しながら学習を進めます。

Q なぜタブレット端末を毎日持ち帰るのですか？

A 学校と家庭の学びをつなげるため、原則として毎日持ち帰ります。

タブレット端末は、授業での学びを振り返ったり、家庭学習や自主学習に活用したりするための学習道具です。毎日持ち帰ることで、学校の学びと家庭の学びをつなげ、子供たちが自分のペースで学習を進めたり、必要な内容を確認したりできるようにしています。なお、持ち帰りに当たっては、子供たちの負担が大きくなりすぎないように、紙の教科書は学校で保管するなど、学習用品や持ち帰る携行品について、各学校で調整しています。

Q タブレットで遊んでしまわないか心配です。

A 学校配布のタブレットは、学習目的に限定して管理しています。

学校から貸与しているタブレット端末について、子供たちには「学習のために使うこと」を指導しています。また、学習に関係のないアプリやサービスは利用できないよう管理しています。ご家庭でも学習目的以外の使用を見かけた場合には「このタブレット端末は学習で使う約束になっている」とお声かけください。

Q 子供同士のやり取りでトラブルは起きませんか？

A 相手の気持ちを考えて使うことを、学校で指導しています。

デジタル上で考えを共有したり、コメントしたりする場面では、相手がどう受け止めるかを考えて使うことが大切です。学校では、言葉の使い方、個人情報を書けないこと、相手の作品や考えを尊重することなどを指導しています。

Q 操作が苦手な子供でも学習についていけますか？

A 一人一人の状況に応じて、段階的に使い方を身に付けられるよう支援します。

最初からすべての操作ができる必要はありません。学年や発達段階に応じて、基本的な操作から少しずつ慣れていきます。必要に応じて、教員が声をかけたり、友達と教え合ったりしながら、安心して学習に取り組めるようにしています。

Q ネットワーク環境は整っているのですか？

A 令和7年度に高速・安定したネットワーク環境を整備しました。

市立小・中学校のネットワーク環境を整備し、高速で安定した動作が可能になりました。子供たちがストレスなく学習に取り組める環境が整っています。

Q 使っていて困ったことがあった場合は、どこに相談すればよいですか？

A まずは学校にご相談ください。

タブレット端末やデジタル教材の使い方、学習での活用について困ったことや心配なことがありましたら、まずは学校にご相談ください。状況を確認し、必要に応じて対応していきます。今後も、府中市教育委員会は学校と連携しながら、子供たちが安心して学べるよりよい環境づくりに向けて、取り組んでいきます。

**「デジタル教材」と「紙の教材」を
適切かつ効果的に組み合わせた「子供たちの学び」を実現し、
一人一人の学びを支えていきます。**